

社会福祉法人福成会

塚口福成園／兵庫県尼崎市

社会福祉法人福成会は兵庫県尼崎市で障害福祉サービスを運営している法人です。塚口福成園は障害などの理由により、一般企業での雇用が難しい人たちが支援を受けて働き、社会参加を実現している多機能型の知的障害者通所支援施設です。

地域社会の一員として主体的に行動し、自己実現を目的に福祉的就労を通して社会参加を実現しています。得意なことに着目し、それを活かした作業内容を提供しています。

今回、補助金を活用し従来の設備を災害時にも強靱性の停電対応型の設備に更新することで、更なる地域貢献の実現が可能となりました。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型GHP 56kW×4台、標準型GHP 35.5kW×1台
- 補助金額：8,868千円(補助率1/3)
- 災害時の設備用途：[発電] 1F(全フロアー)・2F(ホール除くフロアー)の照明・コンセント
[空調] 1F(男女トイレ除くフロアー)・2F(ホール・男女トイレ除くフロアー)

対象施設	避難所面積	供給方式
福祉避難所	740㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

社会福祉法人福成会 塚口福成園 所長 森 康祐 様

現在使用中の空調の更新時期が近づいていて、10年以上経過していることもあり度々故障することが多くなっていました。そのような中で、ガス会社から補助金を活用した提案を受けました。翌年度の補助金スケジュールに合わせて準備することになり、補助金でコストを低減できるのであればということで申請をしました。

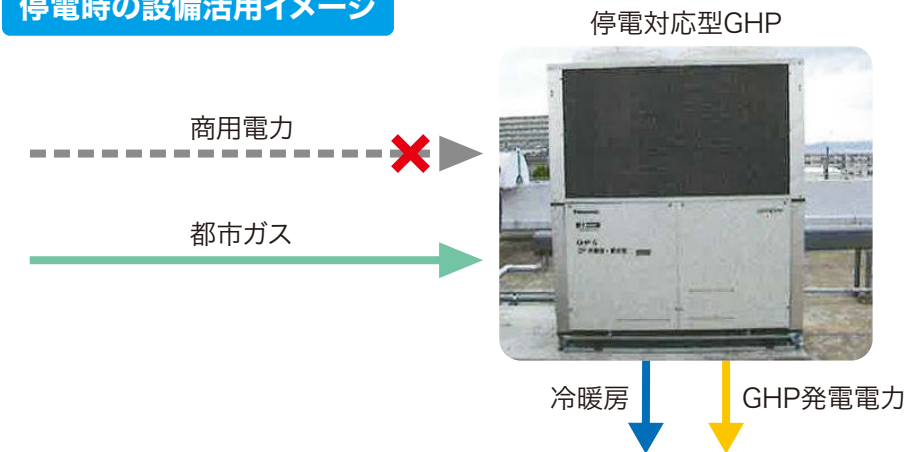
行政からの福祉避難所として協力要請もあり、従来から地域の自治会の集まり等で当事業所を開放するなどして地域貢献をしてきたため、福祉避難所として、行政と協定を締結しております。

今回停電対応型の都市ガス設備を導入する決め手として、実際に災害が発生した場合の環境面を考えた時に、今回の補助金で停電時に稼働できる設備の導入をすることは費用面でもコストが抑えられるところはプラスになると考えました。

停電対応型の都市ガス設備は、補助金対象となることから、信頼できるものであると感じております。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



避難スペース(一例)

1F食堂



2Fホール



など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調/照明



コンセント

協定概要

尼崎市とは「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定書」を締結（令和元年12月）。市から要請があれば福祉避難所として開設し、施設は災害時でも照明、空調等が継続利用できる計画となっています。